

## 病害虫発生予察情報(飛騨地域) 8月予報

### 【 水稲 】

#### 斑点米カメムシ類

高山市国府町に設置した予察灯の誘殺数は平年並で推移しています。しかし、7月中旬に実施した斑点米カメムシ類一斉調査では、イネ科雑草の多い畦畔で成幼虫が散見されました。7月中旬以降少雨傾向で推移していることから、今後発生量の増加が懸念されます。穂揃期とその7～10日後の2回の薬剤散布を徹底してください。

### 【 野菜・花き 】

#### タバコガ類

管内に設置したフェロモントラップの誘殺数が平年と比較して多く推移しています。本虫への薬剤散布は若齢幼虫期が最も効果的なため、ほ場をよく観察し、若齢幼虫が確認されたらただちに防除を実施してください。

#### 灰色かび病

調査ほ場において発生は認められていませんが、名古屋地方気象台が発表した季節予報では、今後降水量が多いと予報されており、発病に好適な条件となる恐れがあります。枯死部のこまめな除去と薬剤散布(同一系統の連用は避ける)を行ってください。

### 【 果樹 】

#### 果樹カメムシ類(特にクサギカメムシ)

予察灯の誘殺頭数が平年と比較して多く推移しています。ほ場への飛来が確認されたらただちに薬剤防除を実施してください。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(8月)

水稲	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水稲	生育(高山市)	並							(生育はコシヒカリ)
	穂いもち	やや少	< 初発生 >						<b>穂いもち</b>
	斑点米カメムシ類	やや多	< 出穂後本田に侵入 >						葉いもちの発生ほ場では、穂いもちの防除を実施する。
水稲	防除適期		▲ ← → ▲ 穂いもち(穂揃期・乳熟期) ▲ ← 斑点米カメムシ(剤の種類による) → ▲						<b>斑点米カメムシ類</b>
									防除は穂揃期およびその7～10日後の2回実施が効果的(粒剤を除く)。
ホウレンソウ	べと病	並				< 高標高地で発生 >			<b>べと病</b>
	コナダニ類	並				< 盛夏過ぎの発生に注意 >			高標高地では、月後半に発生の恐れがあることから予防散布を行う。
	防除適期					▲ ← べと病(高標高地) → ▲ ▲ ← コナダニ(防除) → ▲			<b>コナダニ類</b>
トマト	灰色かび病	やや少				< 曇雨天時の発生注意 >			<b>灰色かび病</b>
	葉かび病	やや少				< 初発生 >			花がらや葉先枯れはすぐに除去する。発生後はできるだけ早い時期に治療効果が高い薬剤で進行を止める(葉かび病も同様)。同一系統薬剤の連用は避ける。
	防除適期		▲ ← 灰色かび病 → ▲ (予防剤の散布、ローテーション防除) ▲ ← 葉かび病 → ▲ (予防剤の散布、ローテーション防除)						<b>葉かび病</b>
野菜全般	病害虫名	生育状況	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
	タバコガ類	多				< 発生最盛期 >			<b>タバコガ類</b>
防除適期			▲ ← タバコガ類(早期発見・早期防除) → ▲						防虫ネットの被覆がない場合は注意する。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

果樹全般	生育(高山市)	早					(生育はモモ)
	カメムシ類	多	<	越冬または第1世代成虫	>		カメムシ類
	防除適期		▲←	カメムシ類(果樹園飛来時)	→▲		飛来が認められた場合は直ちに防除を実施する。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

### 調査データ

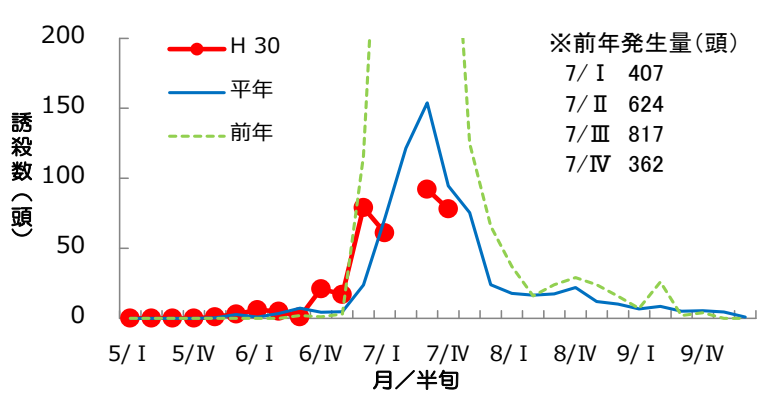


図1 予察灯による斑点米カメムシ類(全種合算)誘殺数の推移(高山市国府町)

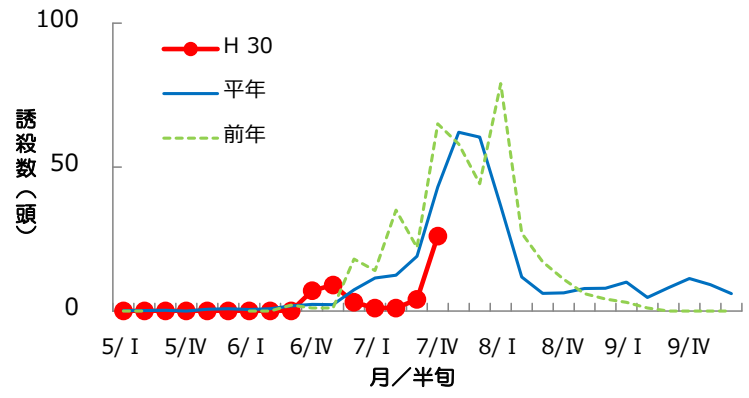


図2 予察灯による斑点米カメムシ類(全種合算)誘殺数の推移(下呂市萩原町)

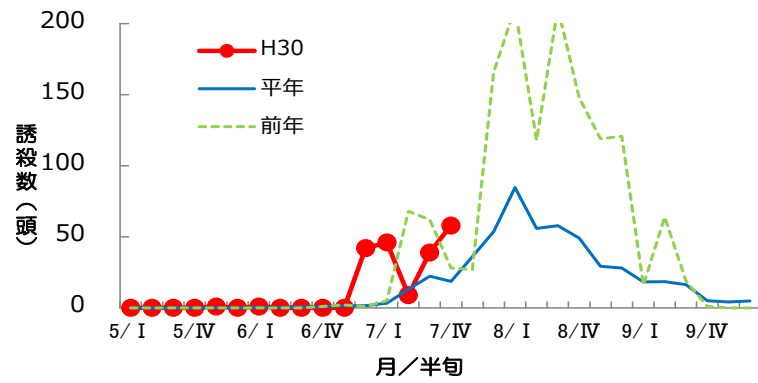


図3 予察灯によるクサギカメムシ誘殺数の推移(高山市国府町)

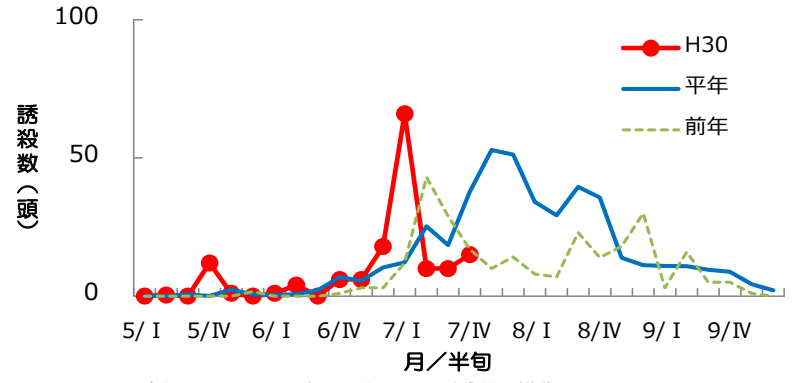


図4 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(高山市国府町)

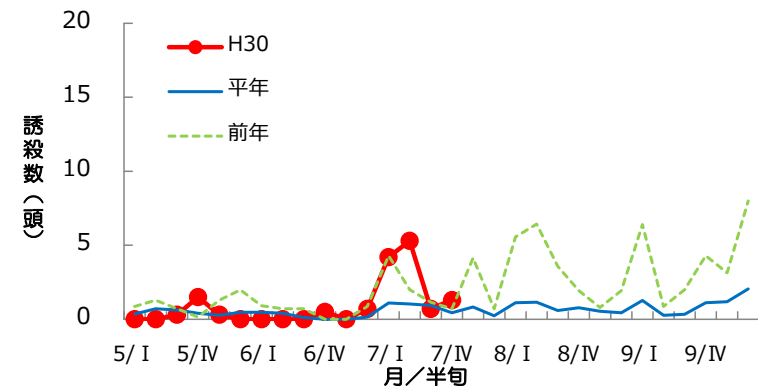


図5 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移(高山市丹生川町)

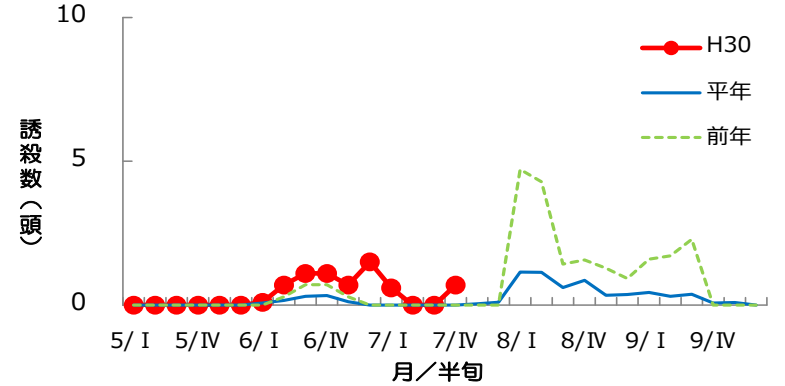


図6 フェロモントラップによるタバコガ誘殺数の推移(高山市丹生川町)

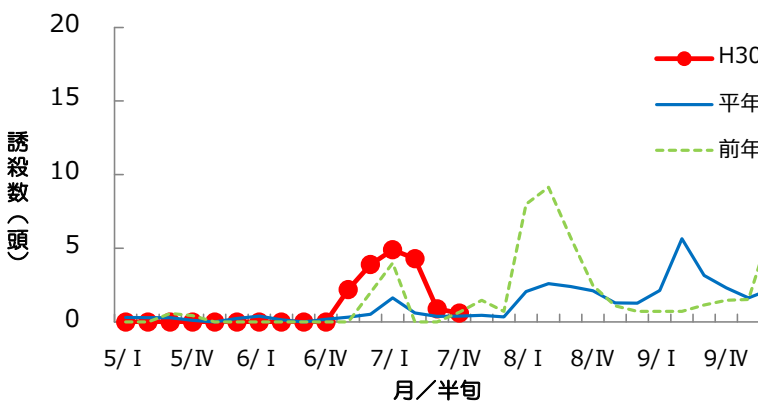


図7 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数の推移(下呂市御麻野)

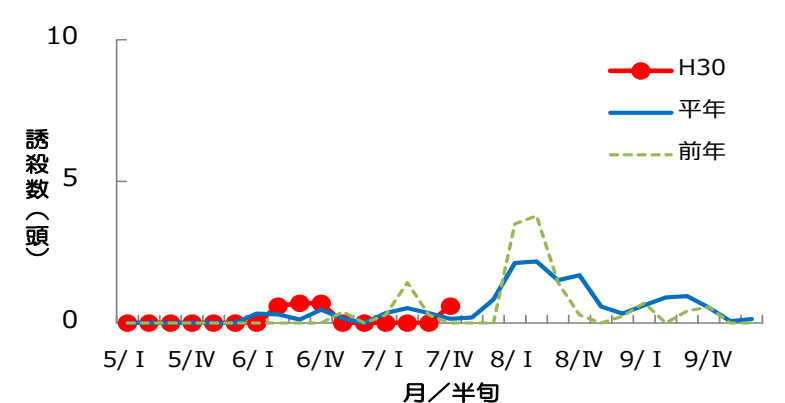


図8 フェロモントラップによるタバコガ誘殺数の推移(下呂市御麻野)

### 6~8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 7月26日発表)

向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並と予想されます。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706